《平成30年度 上下水道部 組織目標》

◆目標管理者

部長 辻川 明宏

◆部局の役割・目標像

市民のみなさまの安心・安全で快適な暮らしのために

- ◆市民のみなさまに、安心・安全で安定した水の供給に努めます。
- ・「安全でおいしく飲める水」を安定してお届けするため、適切な上水道施設の整備や維持管理を行います。・災害に強いライフラインの確保のため、計画的に耐震化を図り、管路更新に取組みます。
- |◆下水道を通じ、豊かな琵琶湖の自然を守り、快適なくらしを支えます。
- ・下水道施設の適切な維持管理を行い、汚水の適正処理に努めます。
- ・下水道整備も概成し、今後、未水洗化世帯の下水道への早期接続を促し、水洗化率の向上に努めます。
- ・災害に強いライフライン確保のため、耐震化・長寿命化を考慮した施設の更新に取組みます。
- ◆お客様からの信頼を高める安定した経営に努めます。
- ・上下水道事業のサービス向上に努めるとともに、事業内容や経営状況の情報発信を効果的に行います。
- ・上下水道事業を安定的に継続するため、健全な事業運営に努めます。

◆職員数および当初予算規模

所属	職員数(人)						当初予算規模(千円)		
171 APR	正規	特任	再任用	嘱託	臨時	総計	歳出(職員費を除く)	特定財源	一般財源
経営層(部長、副部長)	3	0	0	0	0	3	-	-	-
【水道事業】									
上下水道総務課	4.5	0	0	1	0.5	6	1,981,228	450,797	1,530,431
給排水課	3	0	2	0	1	6	4,682	1,835	2,847
上下水道施設課	8	0	0	1	0	9	1,017,638	367,085	650,553
北山田浄水場	8	0	0	1	1	10	1,231,919	346,500	885,419
ロクハ浄水場	9	0	1	2	1	13	1,231,919		
【下水道事業】	下水道事業】								
上下水道総務課	4.5	0	0	1	0.5	6	6,902,291	2,534,907	4,367,384
給排水課	1	0	1	2	1	5	9,471	261	9,210
上下水道施設課	7	0	0	1	1	9	932,858	730,461	202,397
合計	48	0	4	9	6	67	12,080,087	4,431,846	7,648,241

1. 現状認識 (素も見煙の非星した 7. 現場・社会の動力・現場の

(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

<水道事業>

・昭和39年に一部給水開始した上水道施設(取水・導水・送水・配水等)の老朽化が進み、大量更新時期を迎えています。

・近年、日本各地において多大な被害が生じる地震が度々発生しています。その中でも平成23年に発生した東日本大震災、平成28年の熊本地震では、水道を含む社会基盤施設において甚大な被害が生じており、大地震の発生に備え、災害に強い浄水場等のライフラインの確保が求められています。

・草津市水道ビジョンにおいて「災害に負けない水の道を築きます。」 という目標を掲げ、事故・災害対策を施策として位置づけています。

2. 重点目標

水道ビジョンで定めるとおり、管路整備更新基本計画に基づき「基幹管路である中大口径管、医療拠点および災害対策拠点、避難所に至る管」の更新事業を優先的に進めます。

① また、水道ビジョンの中間見直しにおいて、節水型機器の普及、節水意識の向上による給水量の減少が予測されたことから、今後の水需要に応じた計画的な施設整備や管路更新を図るため、上水道事業基本計画を策定します。

・草津市水道ビジョンで掲げたロクハ浄水施設耐震率100%(平成31年度)の目標達成に向けて耐震整備を進めます。

② ・老朽化が進んだポンプ・電気設備等について、長期計画に基づき設備更新を行います。

(3. 目標達成のための取組と成果目標	総合計画上の位置づけ	H30 重点施策
•	【取組】 (1)管路整備更新計画に基づき、中大口径管、医療・災害拠点に至る管を中心に更新を行います。 (事業費) 706,674千円 (うち平成29年度予算明許繰越 173,234千円) (2)今後の水需要に応じた計画的な施設整備や管路更新を図るため、上水道事業基本計画の策定を行います。 平成30~31年度 (H30事業費) 0円 (総事業費) 35,400千円 【成果目標】 (1)配水管更新工事 更新延長 3.4km (うち平成29年度予算明許繰越 0.7km) (2)上水道事業基本計画の策定	分野:上下水道 施策:上水道施設の整備更新 ・耐震化と維持管理	
2	【取組】 (1)ロクハ浄水場新館耐震補強工事を進めます。 [平成29~31年度](H30事業費) 458,585千円(監理費含む) (総事業費) 1,150,915千円(監理費含む) (総事業費) 1,150,915千円(監理費含む) (2)北山田浄水場の耐震補強工事実施設計業務を実施します。 平成30~31年度 (H30事業費) 0円 (総事業費) 90,364千円 (3)浄水場長期改修計画に基づき、設備改修工事を実施します。(事業費) 175,668千円・両浄水場管理棟バリアフリー等改修工事 (47,707千円)・ロクハ浄水場新館高度処理施設揚水ポンプ取替工事 (21,578千円)・原水水質監視装置設置工事 (79,945千円)・原水水質監視装置設置工事 (79,945千円)・取水ポンプ場2回線受電他電気設備整備工事(26,438千円) 【成果目標】 (1)ロクハ浄水場新館耐震補強工事(2)北山田浄水場耐震補強工事(2)北山田浄水場耐震補強工事(2)北山田浄水場耐震補強工事を設計業務(3)機器等の更新工事。・ロクハ浄水場新館高度処理施設揚水ポンプ取替 5 台・原水水質監視装置設置 2箇所・取水ポンプ場2回線受電他電気設備整備 2箇所・取水ポンプ場2回線受電他電気設備整備	分野:上下水道 施策:上水道施設の整備更新 ・耐震化と維持管理	

1. 現状認識

(重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など)

<水道事業(経営)>

・節水型社会の浸透により使用料収入の大幅な伸びは期待できない 状況です。

・平成27年度に中間見直しを行った水道ビジョンおよび水道事業経営 計画(平成23年度~平成33年度)に基づき事業展開を図っています。 ・事業開始から50年が経過し、老朽化した水道管の更新と併せて、震

災等に備えたライフラインとしての機能確保が求められます。 ・水需要の減少など水道事業を取り巻く環境の変化を注視し、安定し た事業経営を続けていくことが必要です。

<下水道事業(長寿命化、耐震化、農集排接続)>

老朽化が懸念されます。

識が高まっています。

・公共下水道の事業着手から40年以上が経過し、公共下水道施設の

・下水道施設の老朽化により維持管理等にかかる費用は年々増大

し、将来の下水道経営に甚大な影響を及ぼしかねない状況にありま

・東日本大震災で得た教訓をもとに、下水道施設の耐震化の市民意

・大震災の発生に備え、災害に強いライフラインの確保が求められて

•市内6地区の農業集落排水施設、処理場が供用開始後21年から29 年が経過し、施設の老朽化により維持管理費が増加しています。

2. 重点目標

めます。

<水道事業(経営)>

老朽水道管の更新の順次実施、震災等に備えたライフラインとしての機 能確保を考慮した整備・更新・改修を進めながら、安定的な水道水の供給 と健全な経営を継続して行えるよう、水道事業経営計画に基づき、水道料 金の10%還元を平成33年度末まで実施しながら、経営状況の確認を行 い、長期的な視点で公営企業としての健全経営を目指してまいります。

下水道施設ストックは膨大な量となることから、経年変化による計画的な 老朽化対策が必要となっています。下水道長寿命化支援制度を活用した 下水道長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの低減を図ります。 また、上記支援制度から、新たに創設された下水道ストックマネジメント支 ④ 援制度へ移行しながら、ストックマネジメント計画に基づき調査・点検を進

平成25年度~平成31年度 下水道長寿命化計画 下水道ストックマネジメント計画 平成28年度~平成31年度

下水道耐震指針に基づき、大震災など大規模災害に強い下水道システ ムの構築を目指し、下水道施設の耐震対策を進めます。

下水道総合地震対策計画 平成25年度~平成34年度

処理場施設の老朽化等への対応や効率的な経営を行うため、市内6地区 の農業集落排水の公共下水道への接続について、計画どおりの事業実施 に努めます。

農業集落排水公共下水道接続事業 平成25年度~平成31年度 (平成32年度中接続予定)

<下水道事業(経営)>

・事業着手から40年以上が経過し、普及もほぼ完了し、今後は老朽化 施設の更新や効率的な維持管理に主眼をおいた事業運営が必要と なっています。

・草津市下水道事業第8期経営計画(平成29年度から平成33年度)に 基づき事業展開を図っています。

・下水道事業は利用者のみなさまからの下水道使用料のほか、総務 省の繰出基準の通知に基づき、環境保全の観点の大きい経費につい ては一般会計からの繰入金により経営を行っています。

・使用料収入はほぼ横ばい傾向となっていますが、下水道事業を取り 巻く環境の変化に注視しながら、引き続き事業の推進と安定的な経営 を行うことが必要です。

<下水道事業(経営)>

・老朽化が進む施設の点検調査および耐震診断を実施し、施設の状況を 把握した上で、老朽化と地震への対策を行うと同時に、集中して実施してき た初期投資の更新時期の平準化を目指します。

また、企業債残高は200億円を上回り、資金面では厳しい状況が続きます が、順調に減少する計画で進んでおり、下水道事業第8期経営計画の進捗 確認により、長期的な視点で公営企業としての健全経営を目指してまいり ます。

H30 3. 目標達成のための取組と成果目標 総合計画上の位置づけ 重点施策 水道事業の経営状況を明確に把握し、水道事業経営計画の進 捗管理を行います。 分野:上下水道 ③ 【成果目標】 施策:上水道事業の健全経営 事業計画の目標達成状況や経営状況の確認分析および今後の 展開について、上下水道事業運営委員会へ報告し、確認していた だいたうえで議事内容についてホームページで公表を行います。

【取組】

(1)公共下水道長寿命化計画に基づき、マンホール蓋の交換によ る長寿命化対策工事を行います。

(事業費) 150.350千円 (2)ストックマネジメント計画に基づき、調査点検を行います。 (事業費) 10,000千円

分野:上下水道 施策:下水道施設の整備更新

【成果目標】

(1)下水道蓋長寿命化工事 (2)下水道施設カメラ調査業務

529箇所 蓋交換 調査延長 8,500m

耐震化と維持管理

【取組】

(5)

(6)

下水道施設の防災対策および減災対策を行うため、過年度の耐 震診断により、対策が必要な箇所の耐震工事の詳細設計を実施 します。

(事業費) 9.000千円 分野:上下水道 施策:下水道施設の整備更新 耐震化と維持管理

【成果目標】

•下水道総合地震対策実施設計業務

【取組】

公共下水道への接続に向けた年次計画に基づいた管渠敷設工 事を行います。

(事業費)

938.686千円 分野:上下水道 (うち平成29年度予算明許繰越 535,186千円)

施策:下水道施設の整備更新 耐震化と維持管理

【成果目標】

農業集落排水公共下水道接続工事 整備延長 2.82km (うち平成29年度予算明許繰越 1.11km)

下水道事業の経営状況を明確に把握し、下水道事業経営計画 の進捗管理を行います。

⑦【成果目標】

事業計画の目標達成状況や経営状況の確認分析および今後の 展開について、上下水道事業運営委員会へ報告し、確認していた だいたうえで議事内容についてホームページで公表を行います。

分野:上下水道

施策:下水道事業の健全経営

